

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2193300122		
法人名	合同会社 カーム		
事業所名	グループホームわかくさ		
所在地	岐阜県飛騨市古川町上町459-1		
自己評価作成日	令和5年10月1日	評価結果市町村受理日	令和5年12月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/21/index_nhp?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JiyosyoCd=2193300122-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと		
所在地	岐阜県各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル		
訪問調査日	令和5年11月1日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

同じ系列のグループホームが同じ敷地内にあり交流をしています。敷地内はバリアフリーになっており、居室・トイレには段差がなく、玄関にもスロープがあり安全確保しています。廊下は直線になっており見通しが良いです。居室・廊下とも畳敷で自宅にいる雰囲気となっています。田んぼの周りに施設があるため、時期により田植えや稲刈りなど見て季節を感じることもでき、施設の裏には花壇や畑があり入居者様と一緒に花を植えたり野菜を収穫したりもしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

同じ敷地内に2つのグループホームを運営している法人である。地元在住の職員が多く、利用者を昔から知っていたり、地域の話で話が弾み、地域性がそのまま運営に活かされている。アットホームな雰囲気の中で、利用者が穏やかに過ごせるよう支援している。新型コロナやインフルエンザ感染等が危惧される中でも、家族面会は感染症予防対策をした上で場所や方法を工夫しながら実施し、利用者と家族の関係を閉ざさない支援を継続させている。代表は地域密着型サービスを踏まえて地元の人を優先的に採用し、職員も互いに学び合うことでモチベーションを高め、質の高い支援を行えるよう取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印			
43	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:15)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	50	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:8,9)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
44	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:14,27)	<input type="radio"/>	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	51	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2)	<input type="radio"/>	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
45	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:27)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	52	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:3)	<input type="radio"/>	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
46	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:25,26)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	53	職員は、活き活きと働いている (参考項目:10,11)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
47	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:36)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	54	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
48	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:20)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	55	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない
49	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:18)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	代表者と職員とで話し合い、作り上げた3つの理念がリビングに大きく掲示してある。	代表と職員が話し合っで作った文言を理念とし、目につきやすい場所に掲げている。新任職員には、ケアを通じて説明し共有している。利用者から「ここが我が家だ」との声が聞ける支援を目指し、理念を実践している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内の行事に職員配置し、区の溝掃除などホームのネーム入りTシャツを着て参加している。また春祭りでは、毎年施設の駐車場で獅子舞いの披露して頂いたりや子供神輿を見たりと交流を深めている。	地元在住の職員から、地域の行事や清掃活動などの情報を得て、地域の一員として参加している。コロナが収束した時には、地域の行事に参加できるよう、利用者一人ひとりの体力作りにも取り組んでいる。	
3	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	密にならないようコロナ感染症対策にて運営会議は施設で行わず、書面開催形式をとっている。ご意見は来所時または電話・文章などでご意見を頂いている。	コロナ禍での運営推進会議は、書面会議で開催し、議事録は送付または、訪問して手渡している。自治会の役員変更時は、新旧の役員がホームに訪れ、引継ぎを行っている。	
4	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	事業所での行事などの取り組みは、運営推進会議などの書類で報告し、助言をもらっている。またコロナ感染症の防護用品など配布を受け、感染対策など情報を得ている。	行政担当者が運営推進会議に参加し、地域福祉の現状や行政の取り組みなどの報告を受けている。運営推進会議のあり方や困難事例などについて指導、助言を受けている。事業所からは運営状況を報告し情報交換を行っている。	
5	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	会社での身体拘束委員会を実施して各部署の担当が参加。部署担当より各会議で報告している。また会社全員での研修会も実施予定しており拘束しないケアの共有も行っている。	身体拘束廃止委員会を定期的で開催している。拘束が必要な利用者はいないが、拘束の弊害について事例を挙げて話し合っている。帰宅願望の強い利用者には、玄関の椅子に座って話を聞くことで落ち着くこともあり、玄関の施錠は夜間・早朝のみとしている。	
6	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	コロナ禍のため、認知症実践者研修などZOOMにて参加し、虐待防止について学んでいる。また会社全体で拘束廃止等委員会を開催し職員間で共有、防止に努めている。	虐待防止委員会は身体拘束委員会と同時にやっている。職員は外部研修でも学びながら、全職員間で共有している。職員の精神的な不安や不満等が生まれない環境作りに努めながら、不適切なケアを見逃さない体制を作っている。	

岐阜県 グループホームわかくさ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会などあれば、学ぶ機会として参加予定している。		
8		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	研修会などあれば、学ぶ機会として参加予定している。		
9	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約の締結、解約または改定の際には入居者本人・家族には十分な説明と理解を頂き契約の締結・解約等をしています。また入居時、安心して入居できるように契約前にホームを見学して頂いています。	家族対応の窓口担当を置いて、家族とこまめに連絡を取り合っている。便りには、利用者の暮らしぶりや手作り作品等の分かる写真を多く掲載している。また、利用者自筆の言葉を添えられるコメント欄を設けて送るなど、家族との信頼を深められるよう工夫している。	
10	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は職員の意見が届きやすいように毎日現場に入っている。代表も毎月のカンファレンスに必ず参加し、職員から提案など聞き取りしている。	職員の採用は、地元の人を優先し、様々な経験を持つ人やそれぞれの経験を活かせるよう考慮している。代表や管理者は、日々、職員の意見や希望を聞きながら、意見等を運営に反映させている。	
11	(9)	○就業環境の整備 代表者は、管理者及び職員個々の努力や実績、勤務状況を把握するとともに、職員が向上心を持って働けるよう、ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境や就業条件の整備に努めている	正社員・パート関係なく有給休暇・休み希望など取得できるようにし、働きやすい環境を整えている。	ワーク・ライフ・バランスに配慮しながら、就業規則を整備している。職員休憩室もある。子育てや介護など、職員の家庭状況にも配慮し、働きやすい職場環境作りに努めている。	
12	(10)	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	会社側から個人個人に受け入れる研修の情報が入り、勤務を調整して研修受講している。	本部から、職員個々に必要な研修情報が入る。勤務時間を調整して受講できるようにしている。職員間でも学び合い、支え合う関係性を育み、全職員が同じ思いで質の高い介護を目指している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会づくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム協議会に加入。現在はコロナ禍のため、直接の交流はできていないが協議会より研修の情報などメールや郵便で頂いている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
14		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家庭で暮らしている環境を作るため、入居者様と一緒に食器洗いや片付け・掃除など一緒に行っている。		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
15	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人が出来る限り思いを聞き取り少しでも希望に添えるよう傾聴している。またご家族からも話を聞いて希望通りの生活が出来るよう努めている。	利用者の希望や思いは、個別支援の中で把握し申し送り表に書き留め、職員間で共有している。家族に会いたいと願う利用者の思いも、可能な限り叶えられるよう、コロナ禍でも感染予防をし、家族との面会を実施している。	
16	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	代表と計画担当が兼務しており、契約当初から本人・家族と関わっている。その思いや意見を介護計画に反映されている。	介護計画作成会議には、出来る限り本人と家族が参加し、一緒に計画を作り利用者本位の支援につなげている。代表兼ケアマネジャーは、申し送り記録と夜間帯の詳細な記録から、利用者の状況を把握し、さらに利用者の様子観察と会話を通して、現状に即した介護計画を作成している。	
17	(13)	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録を紙ベースからタブレットを使用する電子化に変更。申し送りなど重要なところは、マークを付けてすぐにわかるようにしている。またホームの記録を本部でも閲覧でき情報を共有している。	記録の電子化を導入し、タブレットでの記録を行なっている。日々のケア状況がいつでも確認でき、特に重要な箇所をマークするなど、職員間で情報共有しながら、ケアの実践と計画の見直しに活かしている。	
18	(14)	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	身体的に不自由になられた方は、電動ベットや車椅子など使用し自室で生活できるように援助している。また季節ごとに行事を行い季節感を味わえるように支援している。	かかりつけ医の受診同行が困難な家族や、説明が必要な場合は事業所が対応している。女性利用者の下着等の購入に困っている男性家族に代わって、衣類の買い物代行を行うなど、様々な家族の事情に柔軟に対応している。	

岐阜県 グループホームわかかさ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍のため、現在は行っていないが地域のボランティアの受け入れを今後も予定している。		
20	(15)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診については、家族が同行し連れて行ってもらっている。またホーム内では月に2回訪問看護師が入り入居者の健康チェックを行っている。	契約時に、かかりつけ医について説明し、以前からの医師を継続する人は、家族が受診対応している。日常は職員がバイタルチェックを行い、月2回訪問看護師による健康状態の把握で利用者の体調を管理している。職員、看護師、医師と密に連携している。	
21	(16)	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は入院前情報を病院へ提供。退院時には、病院関係者・家族・職員とカンファレンスを行い、スムーズにホームへ戻れるよう努めている。	利用者の入退院は、代表兼ケアマネジャーと管理者が窓口になり、家族と連携しながら対応している。病院への訪問や電話連絡等で、退院に向けた受け入れ体制を整え、利用者が安心してホームの生活に戻れるよう支援している。	
22	(17)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重度化した場合の指針の同意をもらっている。状態変化があれば早めに家族と話し合いを行い方針を決めている。	契約時に、重度化や終末期の対応について、事業所の指針を説明し同意を得ている。利用者の状態の変化時は早い段階で、医師の意見を求め、関係者が相談して方針を共有している。家族の希望に沿った終末期の体制を整えている。	
23		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時に対応できるように、玄関にAEDを設置。各個人ファイルに緊急時の連絡方法を記載した紙があり対応できるようにしている。		
24	(18)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時など避難場所としてホーム2階の会議室への垂直避難できるように心掛けている。また場合によっては、隣のホームへの避難移動も行えるように努めている。	夜間想定を含め、年2回避難訓練を実施し、運営推進会議にて報告、意見交換を行っている。地震、水害などの訓練も行い、2階への垂直移動など個別に移動方法を記録している。	運営推進会議が対面式で開催できるようになった際には、地震や水害時の避難方法についての具体的な話し合いの機会を設け、利用者と共に、安全な避難訓練が行われることを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
25	(19)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その人その人を尊重し、尊厳に損なわない声掛けを字心掛けている。	守秘義務、人格尊重、プライバシー保護を重点に年間学習計画を立て、学んでいる。入浴や排泄介助などの個別支援の場においては、特に、プライバシーや羞恥心に配慮するよう心がけ、不適切な対応にならないよう努めている。	
26		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いを優先し、本人の能力に応じた働きかけをしている。		
27		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日のその人の体調により、体操をする、散歩をするなど気分を伺い自分のペースで暮らせるように支援している。		
28	(20)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	台所に入り、食事を職員と一緒に料理を作ったり盛り付けをしたり、また食後も食器洗いや食器ふきなど行って楽しく会話しながら行っている。	近隣住民や家族から、旬の野菜等の差し入れがあり、それらを活用しながら、職員が三食共、手作りで提供している。調理が不得意の職員も、経験を積んだ利用者から調理方法を教えてもらい、利用者も準備や片付けを手伝うなど、相乗効果が生まれている。おやつ作りも皆で楽しんでいる。	
29		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日パソコンに献立をいれ、なるべく同じメニューが続かないようにしている。また体調の悪い方など食事量を確認したい方はタブレットに入力し様子観察している。		
30	(21)	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、口腔ケアの際には職員が洗面台の前に立ち見守りしながら行っている。また義歯のかたには夜中に薬剤洗浄をして清潔保持している。	職員は、日常的に口腔ケアの大切さを利用者者に話し、口腔内を清潔に保てるよう支援している。義歯の利用者には、睡眠時に薬剤洗浄を行い清潔保持に努めている。歯科衛生士の訪問もある。	

岐阜県 グループホームわかくさ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄用品は、利用者の状態により職員で相談して適切な物品を使用してもらうように支援している。また清潔保持のため、朝・寝る前など定期的にパットの確認をしている。		
32		○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は週2回としているが、本人の希望により足浴やシャワー浴なども行っている。また洗身洗髪もご本人と話をしながら出来ることは行ってもらっている。		
33		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	リビングと居室は自由に行き来出来、自分で居室へ行き休まれている。夜間寝る時も御自分のタイミングで休まれている。		
34	(22)	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の管理は職員が管理している。またスタッフ全員、薬の内容がわかるように処方箋のファイルの作りいつでも見れる様にしている。また薬の変更などあれば申し送りで伝えている。	薬は、利用者個々に分けて保管、管理を行い、誤薬を防いでいる。利用者が服薬している薬の用途、内容等は全職員が理解している。服薬時は本人の手に確実に渡し、飲み終わるまで見届けている。	
35	(23)	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	手作業や家事などその人その人にあつた役割を見つけ、やりがいを楽しみを作れるように支援している。	畑仕事、居室の片付けやモップ拭き、食事の下準備等、それぞれが出来ることで役割を持って行う作業は、利用者のやりがいとなっている。書道や作品作りの手作業なども、得意な事を楽しみながら継続できるように支援している。	
36	(24)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそつて、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍であるので外出はマスクなど着用しながらであるが、近くの神社まで散歩したり馴染みの場所にドライブに出掛けてと外の景色を見て気分転換できるよう支援している。	コロナ禍であっても、利用者の健康状態を見ながら、天気の良い日は近隣の散歩を支援している。順番を決めてドライブにも出掛け、外出先で散策や食事をしたり、おやつを買って食べるなど、外出を楽しめる機会を作り、気分転換を図っている。	

岐阜県 グループホームわかかさ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金については、現在個人でお金を持っている方はいない。必要である場合はホームの金庫に保管し出納帳で管理している。		
38		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族に毎月渡す便りの中にご本人より一言記入する欄があり、コメントを書いて家族へ渡している。また直接電話などで話したい場合はホームの電話を使用し話をしている。		
39	(25)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングの窓は大きくガラス越しから外の景色が見え季節感を感じられる。また台所も対面式でリビングにいる入居者の表情がよく見える。玄関にもベンチが備え付けてあり外気浴しやすい環境となっている。	バリアフリーのホームは、居室・廊下も畳敷きとなっており、転んでも怪我は少なく、入居前の我が家の感覚で過ごすことができている。利用者の習字や季節毎の共同作品、季節の花などを飾り、居心地よく過ごすことが出来る空間になっている。	
40		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下にソファがおいてあり、落ち着いてくつろげる場所がある。また自室へも自由に行けるため、ひとりでゆっくり過ごせることもできるようになっている。		
41		○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家から馴染みのものをもってきてもらい自室として認識できるようにしている。また家族の写真なども飾り安心して暮らせるように努めている。設置してるベッドの高さなどもその人その人で検討し安全な高さに調整してある。		
42		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内の廊下は直線となっており入居者が居室を間違えにくいような作りとなっている。また居室にはネームプレート、廊下にはトイレの位置を示す張り紙が貼ってありわかりやすいように工夫してある。		